

日中対照言語学会会報 (No.34)

2016年1月11日(月)発行 会報担当: 続三義 加藤晴子

目次

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2015年12月20日)議事録
2. 日中対照言語学会第34回大会(2015年度冬季大会)の報告
3. 月例会(2015年11月)

※ 事務局より

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2015年12月20日)議事録

日時:2015年12月20日(土) 12:20~13:20

場所: 大阪産業大学梅田サテライト(大阪駅前第三ビル19階)

出席者: 続三義、加藤晴子、王学群、佐藤富士雄、下地早智子、高橋弥守彦、竹島毅、趙昕、張黎、彭飛、安本真弓、余維、時衛国、原由紀子、藤田昌志、白石裕一、(敬称略)

【審議事項】

① 2016年度からの新執行部

高橋弥守彦常務理事から、次年度の執行部のことに関して、続理事長は辞任の意向を数人の常務理事や理事に伝えているが、今のところ、新しい執行部を推薦するには人選の問題から難航が予想されるため、現執行部の体制でもう1期務めた方がよいとする意見が出された。その意見に対し、全会一致で賛同し、2016年春大会の際の会員総会にかけることとした。

② 常務理事の推薦等

続理事長より拓殖大学の平山邦彦理事を常務理事に推薦するという提案があり、すでに本人に確認しており、全会一致で承認をし、次年度の春季大会時の総会にて追認することとした。

高橋常務理事より、九州外国語学院の王慶会員の理事推薦があり、全会一致で承認をし、続理事長から本人に確認を求めてから、次年度の春季大会時の総会にて追認することとした。

【報告事項】

① 第35回大会(2016年度春季大会)について

2016年5月20日(日)に東洋大学(東京都文京区白山キャンパス)で開催される。具体的なスケジュールなど、また追って検討してお知らせする。

② 学会誌第18号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

安本真弓査読委員長から、投稿の締め切りは終了し、20編の投稿があり、査読委員に原稿を送り、査読進行中であるという報告がなされた。

これに関連して、学会誌18号の投稿論文の査読に際し、一部の査読委員から査読を断られたことに鑑み、続理事長から、査読資格を持つと思われる会員の皆さま、特に、常務理事と理事の皆さまに出来るだけ学会の仕事を支援し、査読の依頼を受け入れてくれるよう要請するという提案があり、了承された。

③ 2015年度の会員数の確認

白石裕一会計係から、今年度の会員の会費納入が順調に進み、136名の会員から会費納入のあったことが報告された。2015年度の新入会員も順調に増え、11月30日までに、31名（一般14名、学生17名）の新入会員がいる。11月30日現在、198名の会員がいることが確認できた。

④ 中国支部の会員費

竹島常務理事から、中国支部の年間会費の納入状況が報告され、支部からすでに入金を確認されていることが報告された。

⑤ 会計係の交通費について

竹島常務理事より、白石会計係の交通費に関する提案があり、もともと会計係はほとんど非常勤の先生方をお願いしてきたが、これまで学会の会計状況から、せっかく大阪まで大会運営に参加してもらっているながら、交通費も出さず、申し訳ない気がする。いくらか補助があればフェアだろうとする提案があった。協議した結果、これまで会計係に支払う経費の3万円を2万円にし、そして、大阪大会参加の経費を3万円とし、合計年間5万円を支払い、そして2015年度から実施することを全会一致で決定し、2016年度会員総会にて、追認してもらうこととした。

⑥ 金丸邦三先生、白愛仙先生を偲ぶメッセージ

2015年4月13日に逝去された学会顧問の金丸邦三先生、2015年10月31日に若くして他界された学会理事の白愛仙先生を偲ぶメッセージを出すということで、高橋常務理事にその文言を起草してもらい、学会誌『日中言語対照研究論集』18号の巻頭言に入れることを、全会一致で承認した。

2. 日中対照言語学会第34回大会（2015年度冬季大会）の報告

日中対照言語学会第34回大会（2015年度冬季大会）は予定通り、2015年12月20日（日）に、大阪産業大学梅田サテライト（大阪駅前第三ビル19階）で開催された。全国からの会員及びその他の方々が50人ほど出席し、本学会特有のさわやかな雰囲気の中、研究発表と討論が行われた。予定していた開会のあいさつと講演会司会をする于康副理事長が体調不良のため、続理事長が代わりにあいさつと司会を行った。そして、総合司会をする予定の下地早智子常務理事が都合で到着が遅れたため、安本真弓常務理事が臨時に第1セッションの司会を任せられ、急場をしのいだ。大会のプログラムを再録しておく。

プログラム

受付（9：00—）	総合司会 下地 早智子（神戸市外国語大学.）
大会開催校挨拶 張 黎（大阪産業大学）	9：20—9：25
開会の辞 于 康（関西学院大学）	9：25—9：30
研究発表1. 受身文の日中対照及び中国語教授法に関する研究 張文青（立命館アジア太平洋大学）	9：30—10：10
研究発表2. 中国語の間接疑問文の再解釈—諾否疑問文と反復疑問文を中心として—	10：10—10：50

王 慶 (九州外国語学院)

以上司会 彭飛 (京都外国語大学)

休憩 (10:50-11:00)

研究発表 3. 「有点儿」と「一点儿」の意味機能及びその使い分けについて

—程度副詞と共起する場合を中心に—

11:00-11:40

時衛国 (愛知教育大学)

研究発表 4. 日本語中国語の対照研究—日中両言語における使用語彙について—11:40-12:20

俞 蕙 (岡山理科大学大学院)

以上司会 余維 (関西外国語大学)

昼休み (60分 ビルの階下に食堂街あり)

12:20-13:20

講演 中国語では「数の一致」を守ってはいけないのか?

13:20-14:20

定延利之 (神戸大学)

司会 于康 (関西学院大学)

休憩 (10分:14:20-14:30)

研究発表 5. 単形体言語と多形体言語

14:30-15:10

高橋弥守彦 (大東文化大学)

研究発表 6. 日中両言語の移動事象に関するスキーマの構築

15:10-15:50

高一波 (大阪大学大学院)

以上司会 竹島毅 (大東文化大学)

休憩 (10分:15:50-16:00)

研究発表 7. コミュニケーション行動評価語彙の日中の比較

—「謙虚」と“谦虚”を例にして—

16:00-16:40

陶 琳 (金沢大学客員研究員)

研究発表 8. 加訳(日→中)再論—接続詞(中)・副詞(中)の加訳(日→中)について—16:40-17:20

藤田昌志 (三重大学)

以上司会 王学群 (東洋大学)

閉会の辞 加藤晴子 (東京外国語大学)

17:20

※昼食の間、拡大常務理事会を開催予定

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費:社会人 4000円、院生 2000円)

3. 月例会 (2015年11月)

会報 33号以来、学会の月例会は11月分のみで、要旨は、学会のホームページにも載っている
ので、ここでは、開催時間と場所、そして発表者の氏名と発表のテーマのみ記しておく。

2015年11月 (14日(土))18:00-20:00 学生ラウンジ (受付のある階)

発表者(1): 洪安瀾 (大東文化大学大学院博士後期)

「存在文の語順について—“在字句”の構造との比較—」

発表者(2): 神野智久 (大東文化大学博士後期課程)

経験と複数の存現文の認知言語学的分析—複数の認知能力、そして構文的意味—」

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4000 円、院生 2000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2014 年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いたします。
- 4) 第 35 回大会（2016 年度春季大会）発表者募集について
2016 年 5 月 20 日（日）に東洋大学（東京都文京区白山キャンパス）で開催される第 35 回大会の発表希望者は 2016 年 3 月 10 日（木）までにテーマと要旨(500 字前後)を続三義（xu_sanyi@toyo.jp）、王学群（ohgakubun@toyo.jp）のいずれかまでお申し込みください。